市民部スポーツ振興課

江之島ビーチコート整備・運営事業の実施方針等の公表について

1 主旨

江之島ビーチコート整備について、民間活力の導入を前提とした事業者の選定を行うに あたり、事前に市の考え方を示した実施方針を公表するもの。

2 背景

- ・遠州灘海浜公園江之島地区は、事業化計画に基づく「大会誘致ゾーン」として、国際大会が 開催可能なビーチコートの整備を目指し、令和3年度に基本設計を実施した。
- ・令和4年度に事業手法の検討を行った結果、設計、解体、建設、運営・維持管理を効率的に 発注するため、民間活力を導入したDB0方式に優位性があることを確認した。
- ・令和6年5月に入札公告を行ったが、物価高騰等の影響により参加表明者がなく、入札不調 となったことから、遅延しているスケジュールを最優先に考慮したうえで、再公告に向けて 検討を行った。

3 前回公告時からの主な変更点

- ・今般の資材高騰や人材不足等による公募への影響を考慮し、メインスタンドは整備せず、 国際大会等の開催時は仮設で対応する。(国際大会開催可能としたコンセプトは継続)
- ・競技団体との再ヒアリングをふまえ、一部コートの拡大や管理棟の諸室、器具庫等の適正化 など運営や競技環境に必要な機能を確保しつつ、事業費の内訳や参画条件の緩和、民間提案 の自由度の拡大など、整備規模の最適化や事業者が参画しやすい環境整備を図った。
- ・施設改修事業費の比較(事業費見込(税込)は、令和7年2月時点のもの)

項目	R6 公告時点	R7 公告時点見込	比較(R6-R7)
施設整備費	約 48 億円	約 32 億円	△16 億円
運営費	約 12 億円	約 15 億円	+3 億円
合計	約 60 億円	約 47 億円	△13 億円

- ・増減の主な要因
 - ①メインスタンド 約18億円減

国際大会等は仮設対応とし、工期の短縮及び事業費を削減

- ②外構 (コート含む)、管理棟 約3億円増 管理棟の見直し、コート拡張、防球ネットの高さ延長により競技環境を向上
- ③廃棄物層撤去・処分 約1億円減 施設規模の縮小に伴い、廃棄物層の撤去面積が減少
- ④維持管理・運営費 約3億円増 物価高騰を反映

4 実施方針の概要

(1) 事業方式

DBO (Design Build Operate) 方式

(2) 事業期間(想定)

令和8年3月から令和25年1月まで(16年11か月)

- ・建設期間 令和8年3月から令和10年1月まで(設計、既存施設解体、撤去を含む)
- ・運営期間 令和8年4月1日から令和25年1月31日まで(既存施設の運営を含む) ※建設期間中は、既存コートを活用し施設利用を継続
 - ※建設期間終了後の令和10年2月1日から新ビーチコートとして全面開業を予定

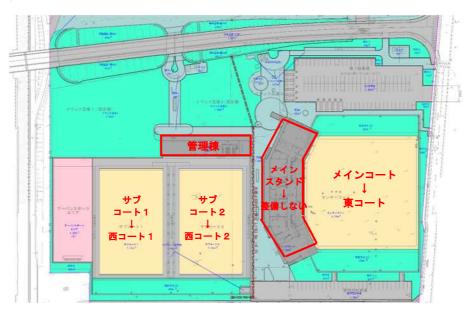
(3) 事業の対象となる業務範囲

- ・統括管理業務(全体マネジメント等)
- ・施設整備業務(設計、施工(既存施設の解体・撤去含む)、工事監理等)
- ・開業準備業務(運営準備、開業記念行事の実施等)
- ・運営業務(利用受付、料金収受、広報・情報発信業務等)
- 維持管理業務(建築物等保守管理、警備、修繕業務等)

(4) 基本設計からの変更事項等

- ・メインスタンドは整備しない。
- ・コート名称を「メインコート・サブコート」から「東コート・西コート」へ変更。
- ・観客席は東・西コート合わせて1,000 席以上、コート周囲に仮設席設置可能な空間を確保。
- ・競技用照明は西コートに整備、西コートを東西方向に拡張し、競技面数を増加。
- ・諸室の規模、トイレ数等の適正数を精査し管理棟内へ配置等を見直し。
- ・夏季の暑さ対策、公園利用者が気軽にビーチスポーツを観ることができる空間の創出 など

◆平面図



5 事業者の募集及び選定に関する事項

(1) 事業者の募集及び選定方法

事業者の募集及び選定にあたっては、WTO総合評価一般競争入札により行う。

(2) 審査及び選定

事業提案の審査は、予め設定した落札者決定基準に従い PFI 等審査委員会にて実施。 ※落札者決定基準は、入札説明と同時に公表を予定。

6 その他

(1) 今後について

- ・実施方針と合わせて要求水準書(案)を公表
- ・PFI 等審査委員会において公募条件の審議を行い、要求水準書を確定したうえ、特定事業の選定・公表及び入札公告を行う。

(2) 事業スケジュール

・実施方針の公表 令和7年 2月

・特定事業の選定・公表 令和7年 3月中旬

・入札公告 令和7年 3月下旬

・落札者の決定・公表 令和7年12月

・事業契約 令和8年 2月